

一日一話

伏すこと久しきは、飛ぶこと必ず高し

これは、中国の古典の中にある一節で私の好きな言葉です。

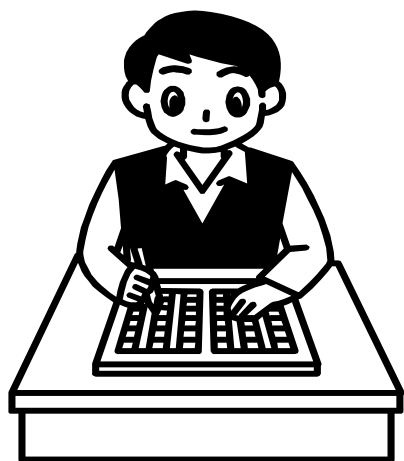
囲碁の世界では、目の利益にこだわらず、将来に備えて力をためる打ち方を、「厚みの碁」というそうです。これを人間にたとえるなら、一見歩みは遅いようにみえますが、一度チャンスをつかむと存分に力を発揮して、一気に遅れを取り戻すタイプの人のことです。

厚みの碁を好むタイプは、晩成型が多いといわれています。これをビジネス社会に置き換えると、優秀な現実派は、若いうちから着々とポイントを重ねて先行しますが、晩成型はそれを横目で見ながら、「今は力を蓄えておけばいい。チャンスが来れば、十分に追いつくこともできるはず」という自信を持てば、別に焦ることもない。と考えます。

これで「伏すこと久しきは、飛ぶこと必ず高し」の解釈は良いのではないかと思います。

長い間うずくまって力を蓄えていた鳥は、いったん飛び立てば、必ず高く舞い上がる。まさに厚みの碁と同じであります。ですから、たとえ逆境にあらうとも、じっと力を蓄えておけば、必ず力を発揮できる時が来ると思います。

「今日より明日へ」といいますが、日々前へ向かって歩きたいものです。



営業2課・今月の商品紹介

☆ ポロシャツ・Tシャツ

紙専門商社ですが、こんなものも取り扱っております。
まずはお問い合わせを。

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代 表
027-361-5808
営業1課
027-361-5734
営業2課
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、
疑問などありましたら、
ご遠慮なく営業または、
下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-arai-yoshio
@kamisugiura.co.jp

特 集

・ IGAS2011

・ UD封筒

・ P-Point

・ 紙1tに水 100t

・ 一日一話

IGAS2011

10月になりました。あの暑さは何だったのだろうと思うほど、朝は寒くて目が覚めるほどの季節になりました。

よく「〇〇の秋」といいますが、皆さんにとってはどんな秋でしょうか？

10月というと、運動会・甘い香りのするキンモクセイ・まだ緑色のみかんを想像する方もおもしろい。

今月下旬になると十月桜（冬桜）が開花時期を迎えます。一年の総仕上げの時期を、体調に気をつけて乗り切りたいものです。

さて、去る9月16～21日にかけて、日本最大の印刷機器・機材の展示会「IGAS2011」が、東京ビッグサイトで開催されました。「印刷は環境と共に進化する」をテーマに開かれた今回は、環境関係を意識した展示が多く見られました。

あまり印刷機の出展がなかった今年のIGAS2011でしたが、その中で小森コーポレーション（以下：小森）のリスロン G40 を取り上げたいと思います。

なぜこれに注目したかという、搭載できるH・UV（ハイブリットUVシステム）に興味を持ったからです。このH・UVは、小森とインキメーカー、ランプメーカーが共同開発したもので、高感度インキとオゾンレスUVランプによるパウダーレスの速乾印刷を行えます。

UV印刷のメリットとして、①パウダーを使用しないので粉落ちなどのトラブルを防止でき、印刷の表面がザラつかないので、後加工での表面処理も行いやすくなります。それによって品質の向上が見込めます。②乾燥時間が要らないのでトータルリードタイムが短縮でき、短納期対応が期待できます。③乾燥時間が要らないことから、ストックスペースが削減できます。

H・UV印刷では、これら従来のUV印刷のメリットに省エネルギーと低ランニングコストが加わります。

リスロン G40 の“G”は、エコを表す「GREEN」の頭文字からきています。UV 乾燥にLEDランプを使用することによって、環境負荷と消費電力量の軽減を計っています。ちなみに、油性インキ・UV インキ・H・UV インキにおけるCO₂の年間排出量の比較では、UV インキでは油性インキ比1.8倍になるのに対し、H・UV インキでは同比0.55倍です。

なかなか設備投資の難しい景気情勢ではありますが、新しい印刷機の導入をお考えになる際は、環境に対する負荷も検討項目の一つとして取り上げてみてはいかがでしょうか。

（K）

営業1課・今月の商品紹介

☆ カーボンオフセット封筒・名刺

封筒・名刺を買うことでCO₂削減に協力できます！
詳しくは弊社営業までお問い合わせ下さい。

UD封筒

2年前に行われたJGASのときは「UD書体」をご紹介いたしました。今回は「UD封筒」をご案内させていただきます。

今更と思われるかもしれませんが、UD（ユニバーサルデザイン）について、もう一度ご説明します。UDとは、①公平な利用 ②利用における柔軟性 ③単純で直観的な利用 ④認知できる情報 ⑤失敗に対する寛大さ ⑥少ない身体的な努力 ⑦接近や利用のためのサイズと空間、といった7つの原則を満たす、平たく言えば「あらゆる人にとって使いやすいデザインである」という考え方です。

今回のUD封筒は、日本印刷工業組合連合会のブースで紹介されていました。NPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会の主催する「第4回メディア・ユニバーサルコンペティション」で、広告デザイン専門学校の飛田誠さんが、学生の部の最優秀賞を受賞しました。(株山

櫻にて製品化され、10月21日の予定で販売開始となります。

このUD封筒は、一見すると縦にラインが入っている普通の封筒ですが「宛名を書くときにどうしても曲がってしまう」という小さな悩みを、ただ罫線を入れるのではなく、淡いトーンによるデザインによって解決したのが非常に面白いと感じました。小さな悩みと言いましたが、しかし、多くの人が困っている問題です。その問題をデザインの力で解決したというのは、UDにとって模範的な例となるでしょう。

封筒の種類などの仕様は割愛させていただきますが、興味を持たれた方は是非弊社営業までお問い合わせください。

(K)

P－Point

三菱製紙株式会社は、印刷用紙の使用目的別に応じて検索ができる、Androidアプリケーション「P－Point(用紙の便利箱)」を開発し、業界初として発表しました。

AndroidMarket から無料でダウンロードできます。

本アプリケーションは、目的別に直感的に操作でき、検索結果を得ることができます。

①用紙を選んでから、紙の総量を調べることができます。

②製作する本の厚みから、紙を選ぶことができます。

③紙の光沢度・白色度から選ぶことができます。

印刷会社様、出版社様、デザイナー様などが『紙』を選ばれる場面で、多様な要求にスムーズに対応できるアプリケーションです。

現在のところAndroid端末以外の展開予定はないそうですが、入手方法は、AndroidMarketにて、「三菱製紙」と検索して下さい。

私もダウンロードしましたが、用紙を選択する際のカテゴリーに、上質紙やコート紙、板紙、再生紙と細かい選択肢があり、その紙の特徴や規格や連量も記載されていますので今まで知らなかった紙や特徴を知ることができ、凄く便利に感じました。

(S)



紙1トンに水100トン

表題をご覧になって、何のことかお解かりになるでしょうか？

私は、営業二課(主に雑貨・衛生紙・紙おむつ等の販売)に籍を置いていますので、洋紙・板紙のことは詳しくありませんが、今回は紙と水についてふれてみたいと思います。

パルプや填料(填料については最後に説明します)などがほどよく混合された紙料(「たね」ともいいます)が紙を抄く(すく)金網(ワイヤーパート)に乗るときの濃度は1%が最適とされています。つまり紙料は100倍に薄められた状態が紙抄きに適しているということで、紙1トンに水100トンが必要というわけです。

紙を抄くにはこの割合が大切で、水を減らしすぎると紙料の分散が粗くなり、紙はぼてぼてになってしまい、逆に薄めすぎても良くありません。正しい濃度で抄くことによってはじめて良い紙ができるのです。ですから、紙を1トン作るのに水はどれくらい必要かと聞かれたら、答えは100トンになります。

ただし、製紙メーカーによると現在では、ワイヤーパートに乗るときの濃度は1%ですが、その水を循環させることによって水の総使用量を約30トンまで減らしているそうです。

【製紙と水】

製紙工場は水をたくさん使うといわれていますが、その中でも特にたくさん水を必要とするところはパルプ製造工程と抄紙工程です。代表的なこの2つをとりあげてみましょう。

①パルプ製造と水

化学パルプの製造には、たくさんの洗浄水が必要とします。その中でも生産量の多いクラフトパルプを例に、水との関係をみてみましょう。クラフトパルプとは、クラフト法という製法によって製造されたパルプのことです。強度が大きいことから重袋用クラフト紙として使われますが、漂白されたパルプは、上質紙など上級紙の主原料としてたくさん用いられています。

化学パルプを作るには、チップを圧力釜と同じ原理の大きな釜に入れ、薬品を加えて高温・高圧で数時間煮ます。すると、固かったチップが柔らかくなり、紙に有害な樹脂も分離・排出された状態となります。粗めでこげ茶色をしたパルプは、洗浄工程で薬品などを洗い流しさらに精選されます。この間に繰り返し洗浄しなければならないため、たくさんの洗浄水を必要とします。

こげ茶色をしていたパルプは、洗浄によって色も薄茶色へと脱色され、さらに精選によってパルプとしての精度を増し、次の漂白工程へと送られます。漂白には、塩素など漂白剤や還元剤を使いますから、薬品を洗い落とすためにも溶出物を除去するためにも、たくさんの洗浄水を必要とします。

②抄紙と水

抄紙工程で必要とされる水は、紙料の希釈以外ではワイヤーや、脱水用のフェルトなどの洗浄水がおもな用途です。この洗浄水は、ワイヤーやフェルトに付着した微細繊維や填料・薬品などを掃除するためのものですから、真水でないと用を足しません。ワイヤーパートで使用済みとなった水は殆んど回収されます。それを「白水」といい、希釈水として再利用されます。

※填料とは？

紙に不透明性をもたせて裏抜けを防いだり、白色度、平滑性などをもたせるために配合または塗布される鉱物性の粉末。フィラーとも呼ばれる。